

動物実験等に関する情報

動物実験に関する情報

- つくば国際大学動物実験規程・・・・・・・・・・・・・・・・別紙①
- つくば国際大学動物実験関連細則・・・・・・・・・・・・・・・・別紙②
- つくば国際大学動物実験組織体系図・・・・・・・・・・・・・・・・別紙③
- つくば国際大学動物実験委員会委員・・・・・・・・・・・・・・・・別紙④
- 動物実験委員会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・別紙⑤
- 各種様式
 - 動物実験等審査申請書(様式①②)・・・・・・・・・・・・・・・・別紙⑥
 - 動物実験(経過・終了・中止)結果報告書(様式④)・・・・・・・・別紙⑦
 - 研究実施場所使用申請書(様式⑥)・・・・・・・・・・・・・・・・別紙⑧
 - 研究実施場所停止申請書(様式⑦)・・・・・・・・・・・・・・・・別紙⑨
 - 事故等報告書・・・・・・・・・・・・・・・・別紙⑩
- 動物実験を行える施設の状況

施設名	部屋数
保健栄養学科実習棟・解剖実習室	1

- * 令和3年4月1日現在
- * 動物を使用する施設等を設置していないため、動物搬入後、一時的保管期間(48時間以内)に実験を終え、動物を処置する。

- 自己点検・評価報告書・・・・・・・・・・・・・・・・別紙⑪

動物実験等に関する実績

- 動物実験計画書の申請・審査件数(過去5年)

委員会開催日	申請件数	承認件数	保留件数	再審査の後承認	取り下げ件数	不承認件数	終了・中止件数
平成28年7月12日	2	2	0	0	0	0	0
平成28年12月20日	1	1	0	0	0	0	0
平成29年5月2日	2	2	0	0	0	0	2
平成29年11月16日	1	1	0	0	0	0	0
平成30年6月6日	1	0	1	0	0	0	0

平成 30 年 11 月 1 日	1	1	1	0	0	0	0
令和元年 7 月 2 日	0	0	1	0	0	0	0
令和 2 年 6 月 8 日	0	0	0	0	1	0	0

* 令和 3 年 4 月 1 日現在

○実験動物使用数(過去 5 年)

使用年度	学 科	マウス	ラット	フェレット
平成 28 年	理学療法学科	40 (40)	0	0
	看護学科	40 (40)	0	0
	保健栄養学科	81 ¹⁾²⁾	14 (14)	29 ¹⁾²⁾
	診療放射線学科	0	0	0
	臨床検査学科	0	0	0
	医療技術学科	0	0	0
	合 計	161 (80)	14 (14)	29
平成 29 年	理学療法学科	40 (40)	0	0
	看護学科	40 (40)	0	0
	保健栄養学科	27	13 (13)	0
	診療放射線学科	0	0	0
	臨床検査学科	52 (52)	0	0
	医療技術学科	0	0	0
平成 30 年	理学療法学科	40 (40)	0	0
	看護学科	40 (40)	0	0
	保健栄養学科	0	10 (10)	0
	診療放射線学科	0	0	0
	臨床検査学科	0	0	0
	医療技術学科	0	0	0
平成 31 年/ 令和元年	理学療法学科	40 (40)	0	0
	看護学科	40 (40)	0	0
	保健栄養学科	0	13 (13)	0
	診療放射線学科	0	0	0
	臨床検査学科	0	0	0
	医療技術学科	0	0	0
令和 2 年	理学療法学科	0	0	0
	看護学科	0	0	0
	保健栄養学科	0	0	0
	診療放射線学科	0	0	0
	臨床検査学科	0	0	0

	医療技術学科	0	0	0
--	--------	---	---	---

()は、学生実習での使用数を示す。

- 1) 幼若動物を含む。
- 2) 外部実験施設で動物実験を実施したものも含む。

○動物実験の研究種別

承認されている実験計画の研究種別は、全て「生物学基礎研究」である。

○実験動物飼養保管状況数

本学では動物の飼養を行っていない。

○教育訓練の実施状況

新規に動物実験を開始する者に対して、動物実験および実験動物に対して深い見識があり、動物実験等の実施経験と実績のある者が講師となり、以下の教育訓練を行っている。

- ① 文部科学省告示「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」および環境省告示「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」に関する講習
- ② 本学における動物の保管法、屍体処理に関する講習
- ③ 動物の取り扱い(保定、腹腔内注射等)による深麻酔に関する実施訓練

実施実績(過去5年)

実施年度	参加人数		計
	教職員	学生	
平成29年	2		2
	0		

○実験従事者数(過去5年)

年 度	実験従事数
平成28年	3
平成29年	4
平成30年	4
平成31/令和元年	2
令和2年度	2

○苦痛カテゴリー

学内で実施している実験計画は、全て深麻酔下で動物を処置し、覚醒させずに安楽死させる実験のため、SCAWカテゴリーは「B」である。

○研究成果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・別紙⑫

○動物実験に関する緊急時対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・別紙⑬